

令和2年5月28日

報道機関 各位

東北大学

東北大学オンライン事務化宣言 —New Normal 時代でのワークスタイルの変革—

【発表のポイント】

- 2020年6月1日、東北大学はオンライン事務化を宣言いたします。
- <窓口フリー>
学生・教職員の各種手続や相談は、対面を重視したオンライン化を拡充させ、これまで以上に学生一人ひとりへのきめ細やかなサービスを提供します。
- <印鑑フリー>
押印を廃止し各種手続きの完全オンライン化を進め、同時に電子決裁システムを導入し業務の効率性も向上させます。
- <働き場所フリー>
職場と同じ環境で仕事ができるテレワーク環境のもとで、職員一人ひとりの多様なライフスタイルに寄り添った働き方を一層加速化させます。

【概要】

東日本大震災を経験した本学は、新型コロナウイルス感染症という世界規模の危機においてもそれを克服し、New Normal 時代を見据えた新たな社会構築に貢献していくことを責務と考えています。新常態のもとでの社会変革を先導するために、本学における教育、研究、産学共創、社会連携、経営等、あらゆる活動をさらに発展させていきます。その取り組みの一環として、窓口サービスや各種手続について、これまで推進してきた業務改革をさらに加速させ、従来「あたりまえ」とされていた業務の見直しを徹底し「オンライン事務化」を宣言いたします。

東北大学は、New Normal 時代における新たな大学の姿を先導し、学生・教職員が、今まで以上に学業や教育・研究活動に専念できる場をこれからも提供していきます。

【詳細な説明】

○窓口フリー

現在、学生の授業はオンラインで実施していますが、在学中の諸手続についても、オンライン化を拡充させ、これまで以上にきめ細やかな対応を可能とします。そして、従来の窓口対応に加え、オンラインによる相談も導入することで、いかなる環境においても学生一人ひとりと対面で向き合える体制を整えます。

○印鑑フリー

学内申請手続や決裁手続は原則印鑑フリーとし、完全オンライン化を進めます。同時に、電子決裁システムの導入によって業務プロセス全体のオンライン化も整備し、業務の効率性を格段に向上させます。これにより 100 以上の学内業務について押印が廃止されるとともに、年間約 80,000 時間の作業時間の削減が期待され、大学の新たな業務への人的投資が可能となります。

○働き場所フリー

本学ではこれまでの業務改革により、事務系職員約 1600 名全員が職場と同等の環境でテレワーク可能な環境が整っており、今回の新型コロナウイルス感染症対応においても、すみやかに在宅勤務へ移行し、3割出勤を実現しました。この国立大学法人でも最先端なオンライン環境のもとに、今後業務効率をさらに向上させ、グローバルキャンパスを一層推進するとともに、様々な職員が働きやすい職場環境を創出していきます。

【問い合わせ先】

東北大学総務企画部広報室

電話 022-217-4977

E-mail koho@grp.tohoku.ac.jp